

2015年7月30日

会社名 ヤマハ株式会社
代表者 代表取締役社長 中田卓也
(コード番号: 7951 東証第1部)

2016年3月期第1四半期連結業績の概要と 通期連結業績予想について

□ 第1四半期業績の概要 — 対前年同期増収、大幅増益 —

2016年3月期第1四半期の売上高は、前年同期に対し、59億円(6.0%)増加の1,055億円となりました。セグメント別には、電子部品事業が減収となったものの、楽器事業、音響機器事業およびその他の事業は増収となりました。

損益面では、営業利益が前年同期に対し26億円(42.0%)増加の89億円、経常利益が26億円(44.5%)増加の85億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が22億円(53.3%)増加の63億円と、大幅な増益となりました。

<事業セグメント別の売上高・営業損益の状況> ()内は原則として前年同期比増減率

・ 楽器事業 売上高 708億円(前年同期比 7.8%増) 営業利益 71億円(前年同期比 21.7%増)

ピアノは国内での苦戦が継続したものの、全体では堅調に推移しました。電子楽器は国内のエレクトーンが前年は新製品効果により好調であったことから、減収となりましたが、デジタルピアノが国内および欧州、中国で好調に推移し、増収となりました。管楽器は北米を中心に、ギターは欧州を中心に売上げを伸ばしました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、51億円(7.8%)増加の708億円となりました。

営業利益は、13億円(21.7%)増加の71億円でした。

・ 音響機器事業 売上高 247億円(前年同期比 1.8%増) 営業利益 10億円(前年同期比 61.4%増)

オーディオ機器はほぼ計画に沿って推移したものの、前年同期に対し、減収となりました。PA機器は全地域で好調に推移し、二桁成長となりました。業務用通信カラオケ機器は減収となったものの、ICT(Information and Communication Technology)機器はルーターおよび音声コミュニケーション機器が堅調に推移しました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、4億円(1.8%)増加の247億円となりました。

営業利益は、4億円(61.4%)増加の10億円でした。

・ 電子部品事業 売上高 35億円(前年同期比 8.5%減) 営業利益 4億円(前年同期 2億円の営業損失)

半導体はモバイル機器向けデジタルアンプの販売が振るわなかったものの、アミューズメント機器用LSIが増収となりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、3億円(8.5%)減少の35億円となりました。

営業利益は、4億円(前年同期は2億円の営業損失)でした。

・ その他の事業 売上高 65 億円 (前年同期比 12.7%増) 営業利益 4 億円 (前年同期 0.4 億円の営業利益)

その他の事業では、自動車用内装部品およびゴルフ用品、リゾート事業が若干の減収となったものの、FA 機器は出荷が大きく伸び、増収となりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、7 億円 (12.7%) 増加の 65 億円となりました。

営業利益は、4 億円 (前年同期は 0.4 億円の営業利益) でした。

□ 2016 年 3 月期通期連結業績予想について — 前回予想を上方修正 —

2016 年 3 月期通期連結業績予想は、4 月 30 日公表時には、売上高 4,350 億円 (前期比 0.7%増)、営業利益 340 億円 (前期比 12.8%増)、経常利益 330 億円 (前期比 5.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 255 億円 (前期比 2.3%増) としておりました。

今回の業績予想では、売上高 4,370 億円 (前期比 1.1%増)、営業利益 350 億円 (前期比 16.1%増)、経常利益 350 億円 (前期比 12.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 270 億円 (前期比 8.3%増) と、いずれも上方修正いたします。

なお、本予想における想定為替レートは、対 US ドル 120 円、対ユーロ 130 円です。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2016年3月期第1四半期業績資料

ヤマハ株式会社

2015年7月30日

	第1四半期実績	前期第1四半期実績	前当期予想 (15/4/30発表)	当期予想	前期実績
	16年3月期	15年3月期	16年3月期	16年3月期	15年3月期
売上高	1,055億円	996億円	4,350億円	4,370億円	4,322億円
国内売上高	392億円 (37.2%)	411億円 (41.3%)	1,471億円 (33.8%)	1,462億円 (33.5%)	1,604億円 (37.1%)
海外売上高	663億円 (62.8%)	585億円 (58.7%)	2,879億円 (66.2%)	2,908億円 (66.5%)	2,718億円 (62.9%)
営業利益	89億円 (8.4%)	62億円 (6.3%)	340億円 (7.8%)	350億円 (8.0%)	301億円 (7.0%)
経常利益	85億円 (8.0%)	59億円 (5.9%)	330億円 (7.6%)	350億円 (8.0%)	312億円 (7.2%)
当期利益 ^(*)	63億円 (5.9%)	41億円 (4.1%)	255億円 (5.9%)	270億円 (6.2%)	249億円 (5.8%)
為替レート(決済レート)	121円/US\$ 133円/EUR	102円/US\$ 140円/EUR	120円/US\$ 130円/EUR	120円/US\$ ^(**) 131円/EUR	109円/US\$ 141円/EUR
ROE ^(**)	7.2%	6.0%	7.2%	7.7%	8.1%
ROA ^(**)	4.7%	3.7%	4.8%	5.1%	5.1%
1株当たり利益	32.3円	21.1円	131.7円	139.5円	128.8円
設備投資額 (減価償却費)	26億円 (30億円)	32億円 (29億円)	138億円 (137億円)	138億円 (136億円)	138億円 (126億円)
研究開発費	60億円	59億円	248億円	251億円	254億円
(キャッシュフロー)					
営業活動	68億円	37億円	385億円	380億円	317億円
投資活動	▲50億円	▲32億円	▲140億円	▲135億円	▲117億円
フリーキャッシュフロー	18億円	5億円	245億円	245億円	200億円
期末在庫高	974億円	891億円	871億円	901億円	878億円
(要員数)					
国内	6,595人	6,821人	6,300人	6,300人	6,541人
海外	13,662人	13,223人	14,400人	14,100人	13,426人
正社員計 ^(**) (連結範囲変動による増減)	20,257人 (21人)	20,044人 (278人)	20,700人 (25人)	20,400人 (25人)	19,967人 (257人)
正社員外要員(期中平均)	7,970人	7,804人	7,400人	7,600人	7,860人
(事業別売上高)					
楽器	708億円 (67.1%)	657億円 (66.0%)	2,800億円 (64.4%)	2,815億円 (64.4%)	2,817億円 (65.2%)
音響機器	247億円 (23.4%)	243億円 (24.4%)	1,175億円 (27.0%)	1,180億円 (27.0%)	1,128億円 (26.1%)
電子部品	35億円 (3.3%)	38億円 (3.8%)	130億円 (3.0%)	130億円 (3.0%)	134億円 (3.1%)
その他	65億円 (6.2%)	58億円 (5.8%)	245億円 (5.6%)	245億円 (5.6%)	242億円 (5.6%)
(事業別営業利益)					
楽器	71億円	58億円	265億円	275億円	251億円
音響機器	10億円	6億円	65億円	65億円	61億円
電子部品	4億円	▲2億円	5億円	5億円	▲14億円
その他	4億円	0億円	5億円	5億円	4億円

(単独の状況)

売上高	585億円	646億円	2,337億円
営業利益	39億円 (6.7%)	39億円 (6.0%)	105億円 (4.5%)
経常利益	144億円 (24.6%)	99億円 (15.3%)	245億円 (10.5%)
当期利益	130億円 (22.2%)	100億円 (15.5%)	253億円 (10.8%)

* 1 当期利益=親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

* 2, 3 ROE・ROAは年換算値

* 4 要員数=期末社員在籍数

* 5 2Q-4Q為替レート US\$=120円、EUR=130円

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。